

やながわ

2020年(令和2年)2月1日 第51号

議会だより



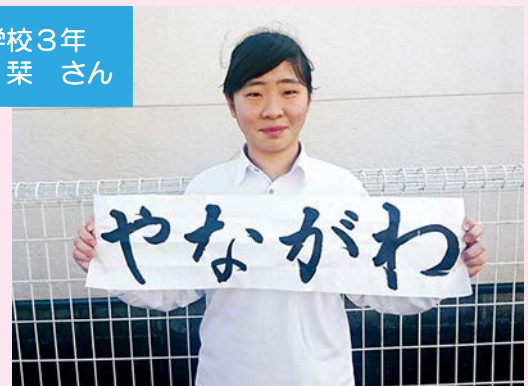
冬休み教室「ワッセ! deつばめ学級」にて

12月定例会

12月定例会 補正予算	2
主な条例の制定・改正	3
議会報告会を開催しました	6
常任委員会視察レポート	8
やながわのここが聞きたい!	10
柳川の子どもたち・編集後記	20

表紙の「やながわ」私が書きました!

三橋中学校3年
橋本 菜 さん



表紙の「やながわ」の文字募集に11名の中学生より応募がありました。
応募された皆さんありがとうございます。今回から順次掲載していきます。

補正予算



一般会計 歳出 主なもの

7億66万1千円増

豊かで安全・安心な市民生活の実現

・防災行政無線屋外拡声子局増設工事費

1936万5千円

5力年計画で進めていた防災行政無線子局設置事業（20局）について事業期間を短縮し、令和元年度・2年度の2力年事業として前倒しして実施します。



・外平排水機場改修事業費
3060万円

外平排水機場は、建設から約20年となり、水中ポンプのオーバーホールや電気の設備更新が必要であるため、緊急自然災害防止対策事業債を活用して、設備の更新を行います。

産業の活性化

・新規創業支援補助金

425万円

当初の想定を上回る申請が提出されており、本市での新規創業を後押しし、空き店舗の解消・地域の魅力向上・商工業の振興を図ります。

・強い農業・担い手づくり

総合支交代付金

2363万4千円

被災施設 28件
ハウス、畜舎、農業用機械

・被災園芸産地改植等

支援事業費補助金

156万3千円

被災主体 JA柳川
被災作物 大豆



・担い手の経営力強化事業費補助金

20万8千円

対象法人
農地所有適格法人 水郷柳川

・ふくおかの畜産競争力強化対策事業補助金

200万円

子育て支援

・ファミリーサポート事業費

16万円

・保育所運営費

2億560万円

・認定こども園運営等事業費

1億4194万5千円

その他の事業

・個人番号カード交付事業費

45万9千円

国は、令和3年3月からマイナンバーカードを健康保険証として本格的に利用できるようカードの取得を推進しています。

本市においても申請件数が増加しており、業務量の増大に対応するため、臨時職員1名増員分の経費を計上します。

マイナンバー制度は、
行政を効率化し、国民の利便性を高め、
公平・公正な社会を実現する社会基盤です。



専決処分

柳川市民温水プールの
指定管理者の指定

指定管理者との指定期間を変更

柳川市民温水プールの天井の一部が落下し、利用者の安全確保ができない状態であるためプールを休館しています。そのため、プールの管理業務を行う必要がないため、指定管理者との協定（指定期間）を変更します。

指定期間

【変更前】

平成31年4月1日から

平成34年3月31日まで

【変更後】

平成31年4月1日から

令和元年9月30日まで



柳川市民文化会館
条例の制定

令和2年12月20日開館

現在、建設中の柳川市民文化会館の設置及び運営などに関する方針を定めた条例を制定します。主なものは、新しい施設の位置、名称、施設の使用料などです。



柳川市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例の一部改正

あらゆる差別の撤廃を

部落差別の解消の推進に関する法律、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律、人権3法の趣旨を踏まえて、柳川市のあらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例の一部を改正します。



柳川市犯罪被害者等
支援条例の制定

犯罪被害者等の被害の回復、軽減を

犯罪被害者等の支援に關し、基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等の支援を総合的に推進し、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減を図ることを目的として制定します。



柳川市立公民館条例の
一部改正

任用方法の変更

地方公務員法の一部改正に伴い、特別職非常勤職員等の任用方法が変更となります。

校区公民館長は総務省から行政区長と同じく現行の地方公務員の特別非常勤職員にはあたらないとされているため「校区公民館の代表」として位置づけ、関係条例等を改正します。



柳川市下水道事業に地方
公営企業法の規定の全部
を適用することに伴う関
係条例の整備に関する条
例の制定

公営企業会計制度へ移行



柳川市下水道事業が令和2
年4月1日から地方公営企業
会計制度へ移行するにあた
り、関係条例の整備を行いま
す。

なお、事業内容は従前の下
水道事業を継承するものであ
るため、既存の条例の内容を
大きく改正するものではありません。



柳川浄化センター

柳川市水道事業給水条例
の一部改正

更新手数料の導入

水道法一部改正に伴い、指
定給水装置工事事業者の指定
の更新制に係る手数料を導入
します。

新規指定時の手数料
1件、5000円と同様に
更新に要する手数料
1件、5000円を
徴収します。

開始・中止手数料の廃止

現在、水道を開始及び中止
する場合、1件につき「10
0円」の手数料を徴収してい
ますが、利用者の負担軽減及
び近隣自治体の状況を踏ま
え、給水装置の開始・中止に
係る手数料を令和2年4月1
日より廃止します。



請願



建設従事者のアスベスト被
害の早期救済・解決と被害
者救済基金の設立を検討す
ることを国に働きかける意
見書提出を求める請願書

〔趣旨〕

建設従事者のアスベスト被
害の早期解決と被害の根絶を
図り、被害者に対し速やか
に、また、負担なく救済する
ための「被害者救済基金」創
設の検討を求める意見書を貴
議会で採択することをお願い
します。

アスベストを大量に使用し
たことによるアスベスト（石
綿）被害は多くの国民に広
がっています。アスベスト
（石綿）被害について、欧米
諸国においては、製造業の従
事者に多くの被害者が出てい
るのに比べ、日本では建設業
従事者に最も多くの被害者が
できていることが特徴です。

また、被害者の多くが高齡
化し、それに伴う病状の進行
を考慮すれば、被害者の救済
に向けて速やかな対処が求め
られます。

- ◆結果 採択
- ◆請願者

福岡県建設労働組合

大牟田支部大和分会

分会長 田中 誠一

- ◆紹介議員 藤丸 正勝

緒方 寿光

意見書を国へ提出

本会議において賛成全員で
可決されましたので、柳川市
議会として国へ意見書を提出
することになりました。



全15議案 賛成全員で可決!



12月定例議会で審議した議案

議案名	
専決処分	専決処分の承認（専決第3号 柳川市民温水プールの指定管理者の指定）
予算・決算	令和元年度柳川市一般会計補正予算（第3号）
	令和元年度柳川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	令和元年度柳川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
条例	柳川市犯罪被害者等支援条例の制定
	柳川市民文化会館条例の制定
	柳川市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例の一部改正
	柳川市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
	柳川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部改正
	柳川市職員の給与に関する条例等の一部改正
	柳川市立公民館条例の一部改正
	柳川市下水道条例の一部改正
	柳川市水道事業給水条例の一部改正
その他	市道路線の認定及び変更認定
意見書	建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決と被害者救済基金の設立を検討することを求める意見書

【議会だよりのお詫びと訂正】
 議会だよりやながわ第50号において誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

1ページ
 ○表紙の「やながわ」の字体が20ページに掲載している柳川高等学校2年廣瀬琴海さんの書かれた字体とは異なっていました。

8ページ
 ○1段目写真の説明
 (誤) 現在建設中のごみ焼却施設
 (正) 現在建設中の火葬施設

次回定例会の日程（予定）

2月25日	開会、提案理由の説明
2月27日	議案質疑
3月2日～4日	一般質問
3月9日～11日	予算審査特別委員会
3月16日	採決、閉会

『しっかり **活** かします みなさんの **声** 』

議会報告会を開催しました！

議会報告会は柳川市議会基本条例第6条第1項の規定（議会は、市政全般にわたって、議員及び市民が自由に情報及び意見交換する議会報告会を行うものとする。）に基づき実施するもので、今年度は常任委員会ごとに班編成を行い、3つの班にわかれ報告会を行いました。報告内容は次のとおりです。

総務委員会

対象団体 行政区長会の
校区・地区会長

日時場所 令和元年11月11日
柳川市民会館

報告内容

次の3項目の報告をし、質疑
応答を行いました。

①庁舎統合

将来的に、現在ある3庁舎体制を一つに統合するというものです。

②公共施設の今後の在り方

今後10年間で公共施設の面積を20%削減する市の計画です。

③コミュニティ交通

①、②について、区長会の皆さんからは、「まず、様々な検証データを市民に示すべき」「庁舎統合した場合、市民サービスの低下することの無いように」、「使われなくなる庁舎の活用方法」など、貴重な意見、提言をいただきました。

③については、現在のコミュニティバスの現状に続き、八女市、広川町で実施している「自宅から目的の地まで予約制で送迎してくれるデマンド交通」の紹



介をしたところ、「初めて聞く」、「柳川市でも導入してほしい」といった意見を頂きました。

区長会からの質問「行財政改革、行政区の統廃合、防災など」に対する現状報告の後、意見交換を行いました。

特に、最も関心が高かったのが「防災」でした。

今回頂いた意見は、早速、市当局に伝達、要請を行い、今後のテーマとしていくことになりました。

教育民生 委員会

対象団体 学童保育所
日時場所 令和元年11月13日
水の郷

報告内容

初めに支援員の処遇改善は必要で重々承知しているのですがそれ以外での運営上の問題を提起していただき、改善出来ることは改善していくことを申し上げて各学童保育所からご意見をいただきました。

質疑、意見等

- ①余りにも市の協力がなく各運営委員会に任せきりであることを指摘され他の市では指定管理者制度を利用してあるので検討してほしい。
- ②施設面での不備特に子どもの静養場所がなく早急対策を講じること。
- ③主任支援員の事務負担の増加で子どもの世話をしながらは無理なので家庭に持ち帰りしている。全体的には支援員の不足が原因。
- ④土曜日・長期休みの利用料金は増額が必要。



蒲池校区学童保育所の様子

- ⑤発達障害児の対応で手がまわらない。
 - ⑥保護者の理解がなくその影響が子どもにでる。
 - ⑦各運営委員会の判断で入所しているのに市全体で共通した規則を作る。
 - ⑧労働条件が悪く若い人が入ってこないため支援員の高齢化しているため元気な子ども達に対応できない。
 - ⑨学校施設等をもう少し自由に使用してほしい(グラウンド・体育館等)
- 他にも、厳しいご意見指摘をいただきましたが市に対しての要望は、アンケート調査を検討して議会から執行部要望することお約束して終了しました。

建設経済 委員会

対象団体 柳川市観光協会
柳川商店街振興組合
各商店会
日時場所 令和元年11月28日
柳川市観光協会

報告内容

- ① 第二次柳川市観光振興計画(2019～2028)の説明
 - ② 先進地事例の紹介
 - ・大分県豊後高田市
 - ・岐阜県高山市
 - ・秋田県仙北市角館
- 質疑、意見等
- ・駐車場とトイレ少ないが、計画は。
 - ・高山市は市職員を海外へ出向させているが、本市の計画は。
 - ・第二次観光振興計画の今後の施策は。

- ・よかもん館、先行投資をした。連携、つながりが必要で単独では良さがでない。全体像は。我々は観光の流れをつかんでいない。市の方向性と自分たちの計画が間違っていれば意味がない。
- ・観光の連携は。西鉄柳川駅前は改修されるが、川下りの船にのせて、商店街を観光客が通らない。市から西鉄商店会へ説明がない。



- ・プロモーションは各商店会に任せるのか、市として一丸となってプロモーションしていくのか。
- ・議会報告会の企画は良かった。
- ・報告会をぜひ月1回くらい開催してほしい。また、もう少し具体的回答が欲しかった。
- ・駅前商店街は少し置き去りになっている。また、「暗い、怖い」といった負のイメージを変えていく必要がある。
- ・観光を発展させるために、観光事業を産業化させる必要がある。



先進地に学べ！ 常任委員会 視察レポート

総務常任委員会

日程

令和元年 11月19日～21日

視察先

静岡県磐田市
公共施設見直し計画
公共施設最適化の取組み
静岡県浜松市
資産経営の取組み

教育民生常任委員会

日程

令和元年 10月29日～31日

視察先

東京都品川区
プログラミング教育
埼玉県和光市
わこく版ネウボラ事業

建設経済常任委員会

日程

令和元年 11月5～7日

視察先

岩手県北上市
企業集積を活かした
地域産業の強化
秋田県仙北市
歴史的町並み保存活用

静岡県磐田市・浜松市へ

総務常任委員会 行政視察



浜松市



磐田市

現在、人口減少、少子高齢化が進展する中、地方自治体が保有する公共施設の整理統合が大きな課題となっている。

柳川市も、庁舎をはじめ145の公共施設を、老朽化に応じて更新していくと、近い将来財政赤字となることが予想されているため、その整理統合、長寿命化が喫緊の課題となっている。

そこで、先進自治体である静岡県の磐田市と浜松市を視察した。

磐田市では、公共施設の面積を30%縮減する目標を掲げ、磐田市が保有、管理する公共施設498施設を対象とし見直し計画を策定され、その内77施設の見直しの方向性と考え方、工程が示され、69施設が方針決定された。すでに、小中学校や幼稚園の統廃合を実施されていた。

浜松市では、平成21年に資産経営推進方針を策定し、公共施設の再編を実行され、施設の延床面積の約30%、維持管理費5億円の削減を達成されている。更に、現在約2千ある施設すべての施設を築年数や財政面、利用状況などの具体的なデータを作成し、今後の方針を明記した力ルテを作成され、ホームページにも掲載し、情報の共有化を実施されている。まだ計画段階である柳川市にとって、大変参考になる視察となった。

教育民生常任委員会 行政視察



和光市

2. 保健・医療・福祉が一体でチームケアとなり、いくつかの課題がある場合はチームで支援策を検討できる。この施策により安心して子育てができ、産後うつ予防にもつながっていると述べられ、2020年度開設の本市の「柳川版ネウボラ」の参考になるものであった。

1. 子育て世代包括支援センターが市内に5カ所あり、そこには母子保健ケアマネージャー、子育て支援ケアマネージャーがいて妊娠前から就学まで継続して一人のケアマネが担当し支援をしている。



品川区

品川区教育委員会は、来年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の実施に向けて民間企業と連携し、小学校数校でコミュニケーションロボット等を用いてプログラミング体験授業を実施している。授業をうけた児童は、楽しみながらプログラミングを身近に感じ理解を深めている。教育委員会は、プログラミング教育に対して「まずは、やってみる」との重要性を語られ、その中で各学校における支援体制を整えていくことが必要であると語られた。

和光市では人口の平均年齢は40歳という、若い世代が多く住んでいる。H26年から設置されている「わこう版ネウボラ」では、

建設経済常任委員会 行政視察



仙北市

美しい景観・まちづくりの視察のために仙北市角館を訪問した。ご当地は「みちのくの小京都」と呼ばれ藩政時代の武家屋敷群をはじめ歴史的な街並みを生かしたまちづくりが印象的だった。沿線の建物の色彩はコンピニ、銀行、ホテルまで白、黒、茶系統で統一されている。年間約200万人の観光客が訪れ、その大半が桜の咲く季節に訪れる桜の名所でもある。観光客の受け入れ態勢を整えることが課題であったが道幅を広くする街路整備を景観に配慮しながら行い無電柱化も進んでいる。本市でも参考にしたい。

岩手県北上市・秋田県仙北市へ



北上市

企業誘致先進地として北上市を視察した。同市はものづくりで特化した多業種の工場誘致に成功している。成功するまでの道のりは決して平坦なものではなく、その淵源は昭和10年代にさかのぼる。工場誘致に向けてまずは「地元から工業の担い手を育成する」という強い信念のもと、町長が中心となり工業高校の誘致活動を展開。昭和14年4月、黒沢尻工業学校創設となるが、その費用は町の年間予算を大きく上回るものであった。また敷地用地は住民が寄付するなど、町民一体となって実現させた。現在は新幹線、高速道路、国道、花巻空港などのインフラ整備が進み、地の利を生かしたトップセールスを展開している。





やながわの ここが聞きたい！

質問者氏名	掲載ページ	質問事項
佐々木 創主	p 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・西鉄柳川駅西口川下り乗船場と柳川活性化 ・柳川市における企業立地と商工業活性化
橋本 憲之	p 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの明るい将来のために (1) 公共施設の今後のあり方について (2) 財政改善について
白谷 義隆	p 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・小野英二郎邸跡地活用について ・地域おこし協力隊について
新谷 信次郎	p 1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅入居者選考について ・防災対策について
矢ヶ部 広巳	p 1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・工場進出の騒音が終日で大迷惑 ・課題多い駅前の川下り構想 ・袋小路の私道も市へ提供できるように見直すべきでは ・ごみ袋を厚手のものに ・結婚サポートセンター閉鎖となって
緒方 寿光	p 1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・柳川駅前に「堀割を引き込む整備計画」について ・本市の「インバウンド誘客（戦略）」と施策は ・小中学生の「インターネットトラブル」への対策は
高田 千壽輝	p 1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・8月末の水害や台風17号の被害 (1) 農業関係の被害状況について (2) 漁業関係の被害状況について ・民生児童委員について
今村 智子	p 1 8	<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市外国人市民施策について ・これからの図書館について (1) 学校図書館 (2) 市立図書館
三小田 一美	p 1 9	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックを前に、災害時の危機管理能力向上の取り組み ・住みよい街づくりを目指す方向は



多くの課題を抱える

柳川駅西口川下り乗船場計画



佐々木 創主

答 都市計画課長 川下り乗船場計画の内容は、県が駅前までの堀の整備、市が側道整備、西鉄が複合ビル建設。市の負担は、道路整備の5千万円。

問 その目的と効果は。

答 都市計画課長 駅前の賑わい創出、新たな観光客の獲得と街歩き観光の促進。

問 川下り観光客の交通手段は。

答 観光課長 川下り観光客は、西鉄電車 11万人、大型観光バス 18万人、自家用車 13万人。

問 川下りとセットになった電車の割引乗車券で、この業者の船にも乗れるのか。

答 観光課長 1社しか乗れない。

問 駅前乗船場の利用はどうか。

答 観光課長 業者間で川下り料金がバラバラ、電車との割引券が1社だけという課題、共同利用の方法など、ルール作りのため、今後業者と話し合っていく。

問 業者の連携と発展のためには、業界の組合が必要。併せて雇用が不安定な船頭さんのための社会保険制度などの待遇改善も必要。市が業者をリードしていくべき。

この乗船場は、水位が高い時、国道下を通れない、商店街を素通りされる、水質の問題などがある。

答 市長 業者の連携は行政がリードしていく。

問 現在、大河ドラマ「宗茂と闇千代」の誘致運動をしている。
三柱神社には、立花宗茂公、闇千代姫、戸次道雪公が祀られている。その物語に触れ、楽しみが増す三柱神社を素通りはもったいない。共同の乗船場建設は、三柱神社のほうがいいと思う。



西鉄柳川駅西口の完成イメージ

地場企業に注目！
求められる行政の意識改革

問 いすゞ自動車など柳川から企業の流出が続いている。これからどうするか。

答 商工ブランド・振興課長 調査の結果、40社が新たな展開を検討している。工場の拡張、新設に、固定資産税の減免などの支援策のほか、国の制度を活用し、地場企業の支援を行い、フォローしていく。

問 柳川には、新たな展開をし、発展している元気な企業が少くない。

「柳川には工場建設のための広い土地は農地しかないので市外に行った」との声も聞かれる。

農地転用など、職員がこれまでのやり方ではなく、意識を変えて取り組んで行く必要がある。





子どもたちの明るい将来のために



橋本 憲之

公共施設の今後のあり方は

問 財政課長 公共施設等総合管理計画とは、長期的視点

から計画的、効率的に公共施設等の整備や維持管理、施設の長寿命化や統廃合を進めることで、将来負担の軽減を図り、限られた財源の中で充実した行政サービスを提供することを目的とする計画。

問 学校施設・庁舎の個別計画は。

答 学校教育課長 今年度中に学校適正規模・適正配置化検討委員会を立上げ、来年度末に答申頂く。

財政課長 公共建築物については昨年度からの2年間で策定。



休館中の市民温水プール

問

学校施設は、合併後統廃合議論がなされ頓挫したと聞いている。市民の地区への深い地元愛が絡み、非常に神経質にならざるを得ない問題。何より子どもたちが一番影響を受ける問題。常に『合意形成』に気を配り、推進することが重要。

財政改善策は

問 今後歳入の見通しは。

答 財政課長 人口減少、普通交付税の合併算定替縮減等で非常に厳しい財政状況が想定される。

問 歳入が減ると、歳出も減らす必要がある。後期高齢者医療費はどれだけかかっているか。

答 健康づくり課長 総額で約128億円。一人あたりは約111万円。

問 健康寿命を延ばす市の取組は。

答 健康づくり課長 生活習慣病予防、食生活改善の推進をしている。

福祉課長 介護予防事業、運動機能向上や認知症予防の為に体操教室を行っている。

問 最近よく耳にするフレイルとは。

答 福祉課長 高齢化に伴う筋力低下や社会的問題を含む包括的概念。

問 フレイル予防には筋肉減少症(サルコペニア)予防が必要。啓発活動をお願いしたい。



筋肉減少症（サルコペニア）の悪循環

問 基金が枯渇すれば、どう市政・財政を運営していくのか。

答 市長 計画的な基金繰入を自主財源確保などの行財政改革を推進することで、財源不足への基金繰入を抑制し、持続可能な財政基盤を確立していく。

問 民間活力をうまく活用し、市民の皆さんと『合意形成』をはかり、市民主導で事業を行うことが財政健全化にも繋がっていく。子どもたちの将来が明るいものとなるようお力添えをお願いしたい。



ジョン・レノン資料館建設は

市長 当面、公園のまま



白谷 義隆

問

この用地は、平成26年に市が購入したのだが、市の説明では、「ビートルズのジョン・レノンの夫人オノ・ヨーコさんは、この英二郎氏の孫にあたり、この跡地にジョン・レノン資料館を建設できれば柳川観光の大きな名所になるのでは」というものだったが、跡地の活用はどうなっているか。

答

都市計画課長 現在、「新外町緑地広場」として整備しているが、平成29年9月オノ・ヨーコさんに手紙と共に資料を送ったが現在まで返事はない。

問

「もし、オノ・ヨーコさんと接点ができ、遺品や資料を譲り受けることになれば」と答弁があったが、ただ、手紙のやり取りだけで話は進まないと思うが。

答

市長 用地購入に際し、遺品の寄付のところまで到達していない。その後、病気を患ってあるということで、私たちが接点を持つことは非常に厳しいと思う。公園として整備していることで、船頭さんが「オノ・ヨーコの祖父の屋敷跡です」と紹介するだけでも十分まかかっていると思う。

地域おこし協力隊とは

問

市では、国の制度を利用して、地域おこし協力隊を採用しているが、協力隊の役割と目的は。

答

商工・ブランド振興課長 地域外の人材を受入れ、隊員の定着・定住を図ること。1年～3年の期間、農水産業の支援や地場産品の開発・販売の支援など地域協力活動に従事。

問

現在までの採用人数は。

答

商工・ブランド振興課長 平成25年度に3人、26年度2人、28年度3人、29年度6人、30年度7人、令和元年度1人の計22人。

問

現在の隊員数は。



新外町緑地広場

答

商工・ブランド振興課長 9人。

問

地域おこし協力隊の目的は隊員の定住だが、現在まで何人が本市に定住したのか。

答

商工・ブランド振興課長 任期満了後本市に在住している隊員は3人。

問

定住者を増やすための取組は。

答

商工・ブランド振興課長 市がやりたいことと隊員がやりたいことの認識の違いを防ぐため、任期中の活動が任期後の就業に結び付く明確なビジョンを募集、採用前に確立させる。



地域おこし協力隊の活動の様子





柳川市の防災対策は大丈夫か

市長 自主防災会を支援



新谷 信次郎

問 「地区社会福祉協議会」（以下「地区社協」）が自主防災組織として全地区に設立されているのか。

答 総務課長 平成24年度に市内19の地区に地区社協を自主防災組織として設立した。

問 「水防法」にいう、「ダムや堤防などの施設では防ぎきれない災害に対する自主防災組織」は行政区長がリードし、公民館長、地区社協などが一致団結しないと地区防災の役割を果たせないのではないか。

答 総務課長 平成24年度以降、地区社協主催で防災訓練を行っている地区が11地区ある。地区社協が自主防災組織であるとの認識をもって各種団体の皆さんが団結して取り組まれていると思う。

問 大和町六合校区では平成28年に「六合校区自主防災会」を立ち上げている。市は何らかの援助をしてきたか。

答 総務課長 市から災害時に使用するワイヤレスマイクやメガホン、トランシーバーなどの資機材を貸与した。

防災訓練は

問 「矢部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」のアンケート「地域防災マップを活用した防災訓練等の取組を支援する」ことについて市は「引き続き実施」とある。どういった進捗状況か。



平成24年の豪雨災害

答 総務課長 平成24年度以降これまで11校区、2行政区で延べ29回、市から防災訓練等の取組の支援に出向いている。今年度は、東宮永校区自主防災会の組織づくりの支援に入っている。

問 柳川市の防災対策の基本姿勢について市長の考えは。

答 市長 平成24年の水害から7年が経過し、災害の記憶が風化し、災害への備えに対する意識が少しずつ薄れているかもしれない。いざというときは助け合い動けるように、行政としても、自主防災会の活動を支え、継続的な取組が自らできるよう支援していきたい。

強制排水ポンプ設置を

問 昭代諸藤、長藤地区のために強制排水ポンプ設置がでないか。

答 水路課長 先行排水、水路浚渫を行っていく。



冠水した諸藤の道路



工場進出の騒音が終日で大迷惑
課長 聴き取りし状況を把握する



矢ヶ部 広巳

問

ストップ跡に工場が来た。終日騒音が途切れることがない。夜も眠れない。騒音公害の法は如何に。

答

生活環境課長 「人の健康の保護及び生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準」として、「午前6時から午後10時までの間が55デシベル以下、午後10時から翌日の午前6時までの間が45デシベル以下」と規制基準はなっている。今後、地元の区長等への聴き取りもし、現地の状況把握を考えている。

課題多い駅前川下り構想

問

市は5千万円の支出だけで、本当に済むのか。

答

都市計画課長 駅西口の交番付近から二ツ川までの範囲の整備では市は掘割に併走の道路等の整備を実施するので、概算事業費では5千万円を予定している。

問

工事は国道を閉鎖してやるのか。

答

都市計画課長 閉鎖は考えていないが、期間中一時的に片側通行など、不便をおかけする場合は想定される。混雑する時間帯を避けるなどの対策を考えている。

問

舟着き場は1カ所か。

答

都市計画課長 1カ所で10艘程度の同時係留が可能



西鉄柳川駅西口

答

観光課長 そうならないように、これから協議を重ねていく。

問

お客様の奪い合いでみない争いや恥さらしにならないか心配するが。お客様の奪い合いでみない争いや恥さらしにならないか心配するが。



二ツ川からの掘割の引き込み箇所

袋小路の私道も市へ提供できるように見直すべきでは

答

建設課長 寄付採納の主な条件は、幅員が6メートル以上、両側に内径30センチメートル以上の排水施設が設置されていることとしている。

問

無条件の見直しを要望する。

ごみ袋を厚手のもの

答

廃棄物対策課長 ごみ袋は現行の仕様を維持したい。





「柳川駅前の周辺整備」の課題と観光振興策は



緒方 寿光

問 新設掘削護岸は伝統的景観を考慮した整備内容か。保全対策は。

答 都市計画課長 県で自然石による石積み護岸整備の検討がなされている。新設掘削は水循環対策を検討し、入口は空間演出や運営面のほか掘干のための河川工作物設置可否や構造面等、多面的に検討し判断する。

問 周辺建物の景観統一は。

答 都市計画課長 市民ワークショップ等を通じ景観対策を関係者等と検討していく。

問 駅西ロータリーは現在も交通支障等がある。道路整備等の方針は。

答 都市計画課長 バス・タクシー乗降場への通路屋根と身障者駐車場屋根を施工する。西ロータリーは交通検証を目的にビデオ撮影調査を実施し交通阻害等の問題改善策を検討している。

問 「西口周辺は現在も暗い怖いといった負のイメージがある」との声がある。整備後は警察官の常駐体制が可能な交番が強く望まれるが。

答 総務課長 県警より「県民要望」に答えられるよう警察活動に努めていく」と回答があった。

問 市独自の周遊券の販売は。

答 観光課長 駅案内所機能の検討を行う中で、観光協会等と協議していく。

問 インバウンド客数が減少している。今後はタイ・台湾との交流を行い誘客を推進すべきでは。



駅西口整備構想（広報やながわより）

答 市長 本市あげて取り組む。1月にバンコクで開催の旅行博に参加しプロモーション活動を行う。また柳川を舞台にした中国映画「柳川」の撮影が1月に始まる。中国人観光客誘致が期待できる。

問 観光プラットフォーム化へ向けての具体策は。

答 観光課長 県の支援のもとと関係団体と組織構築に向け協議を行っている。令和2年度末のDMO登録を目標に取り組む。

小中学生のネットトラブルの対策は

問 「ネット上の写真トラブルや悪口書き込み」等の実態がある。指針と指導、ルールの徹底は。

答 学校教育課長 「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」を小中学校P連と教育委員会で協議し作成した。小中学校の道徳・学級活動・技術家庭科の授業で情報モラル教育を行い、保護者へは講演会で周知し、保護者だよりを通してスマホ等の使用のルール作りを行う。



インターネットトラブル事例集（総務省資料）



8月末の水害や台風17号の被害は



高田 千壽輝

農業の被害は

答

農政課長 8月末の水害では、大豆の被害額が2億800万円・イチゴ苗100万円・アスパラガス40万円の合計2億940万円。

台風17号の被害は、ナスの施設ハウスの全壊が2件・ビニール破損8件・トマトのパイプハウスでビニール破損2件・アスパラガス3件・スイートコーン1件のパイプハウスのビニール破損・牛舎の屋根一部飛散・堆肥舎の全壊被害金額は、4164万円。

塩害は、水稲・大豆に確認され、特に大豆では生育不良で収穫できない農家もいた。

問

昨年と比較して米・大豆の粒が小さいと聞くがどうか。また台風での塩害は。

答

農政課長 米・大豆とも収量は減収、詳細は現在集計中で把握できていない。品質は水稲で乳白米が多く、大豆では粒が小粒で扁平粒が多く昨年と比較して品質の低下が見られる。



農作物の水害

漁業被害状況は

答

水産振興課長 8月末の豪雨により記録的な濁流が発生して漁船3隻が流失し2隻が転覆。

中島漁港では浮桟橋3基が転倒し、流木やゴミ等が海岸や漁港に漂着し、大量の流木やゴミ等が有明海に流出した。

台風17号では、漁場で漁場標識柱が20本倒壊。また、海苔生産者による支柱立てが始まっており、支柱が傾き手直し作業が必要になった。

問

漁港に漂着したゴミの種類と総量と回収費用は。

答

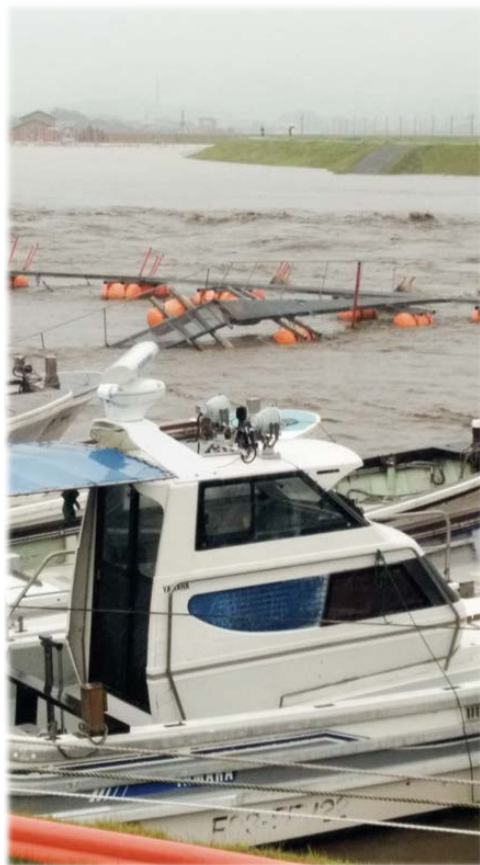
水産振興課長 ゴミの種類は流木や葦、水草などの他ビニール袋やペットボトル、空き缶にプラスチック。処理量は、361㎡で処理費用は953万円。

問

流木は漁船に直接被害を与えるので何処から流出しているのかを河川事務所と協力して調査を。

答

水産振興課長 流木については漁船の運行に大きな支障をきたすことから、国や県に対策を要望していく。



中島漁港の被害





柳川市外国人市民の施策は



今村 智子

問 全国で在留外国人が増加している。本市の在留外国人数は。

答 市民課長 令和元年10月末514人。平成26年10月末256人で5年間で258人、約2倍増加。

問 外国人向けの支援は重要。本市の日本語学習支援は。

答 総務部長 民間団体の柳川日本語教室「水かげろう」による支援がある。

問 子育て支援は。

答 子育て支援課長 保育所など、幼児教育・保育の無償化など、住民登録があれば日本人と同様の子育て支援が利用できる。

問 教育支援は。

答 学校教育課長 外国人は日本の法律による就学の義務はないので、保護者の希望での転入となり受け入れは日本人転入者と同様である。場合によっては本人の語学能力を考慮するなどで学齢以下の学年で受け入れも可能。今後、外国人児童が増えた場合は、日本語指導対応の加配教員の要望が必要だとも考える。



問 防災対策は。

答 総務部長 英語と中国語版で避難所や緊急連絡先の掲載をしたガイドブックを渡している。今後は災害時の対応についての教育を行うことも検討していく。

問 医療支援は。

答 健康づくり課長 英語での対応可能な医療機関は市内50軒あり、相談があれば紹介を行う。母子手帳は10カ国の外国語対応。

問 今後は外国人市民アンケートや外国人市民会議、市長との懇談会等、外国人の声を聞く場を設けては。

答 総務部長 外国人との情報交換の機会や市民との交流の機会を設けて、多文化共生のまちづくりに役立てたい。

これからの学校図書館は

問 全国で小学生の読書冊数が30年前と比べて約半分に減少。本市の小中学生1ヶ月の読書冊数は。

答 学校教育課長 小学生は一人当たり約21冊、中学生は約3冊。

問 読書推進への取組は。

答 学校教育課長 朝の読書活動、家読の推進を図り読書習慣の育成に取り組んでいる。

市立図書館は

問 館内の会議室等の利用が少ないようだが状況は。

答 図書館長 年間で本館280件、昭代分館3件。蒲池分館0件。

問 利用者増加に向けての検討を。

答 図書館長 「柳川市図書館協議会」で協議、検討していく。



柳川あめんぼセンター



災害時の外国人観光客に対する危機管理は



三小田 一美

問 柳川市内在住の外国人の国籍と言語の種類は。

答 総務課長 在住者は26か国、531人で言葉の種類は不明。

問 昨年、柳川を訪れた外国人人数は国ごとにどれだけか。また、言語の種類は。

答 総務課長 外国人観光客数は23万3千人で、韓国10万5千人、台湾7万1千人、香港1千7百人で全体の77%となっており言語の種類は把握していない。

問 前回の矢部川堤防決壊時のような豪雨が発生すれば、市内各地で冠水や浸水が発生し、広報車による周知が

制限される。災害が発生した場合、電気が停止し電話や通信手段が限られるが、外国人向けに避難誘導を促すための広報手段は。

答 総務課長 防災メールや市のホームページなどでやさしい日本語も加えて発信したい。



平成24年の豪雨災害

問 災害発生時には、コミセンや学校等が避難所になると思われるが、外国人在住者が、日頃その場所を知っているか否かの確認は行っているか。

答 総務課長 確認してあるかどうか把握していない。

問 災害発生時に、日本語を話せない方が避難して来られた場合、外国語を話せる職員又はボランティアを配置するとか、外国語の翻訳機を設置する等、どのような対応方法を準備されているか。

答 総務課長 やさしい日本語による対話シートを活用したい。

問 災害発生時には、食糧の確保が難しいと思うが、宗教によっては食材が制限される国があると思うが、これらの対応は。



大雨による被害

答 総務課長 現在備蓄しているものには、肉類はなく、アルファ化米や乾パン等でイスラム教徒の方たちの食事にも対応したハラール認証品となっている。



☆柳川の子どもたち☆



柳河小学び舎の日（上手にできたね！1年生の出し物）



柳河小学校

練習の成果を発揮！子どもどろつくどんの披露



豊原小学校

地域総出で盛り上がった豊原校区夏祭り



地域の安全を願いながら！防犯・交通安全パレード



聞く人の心を魅了した吹奏楽部の演奏



昭代中学校

作品を作る楽しさや努力が感じられた美術部の作品展示

編集後記

令和2年（二〇二〇年）が始めました。

昨年末に、関東地方で活躍している市議会議員から「議会広報紙」の話をもらい「いつも読んでいる人は60代で約3割。50代以下は1割を切っているのではないか。」との事でした。原因の一つが「難解な議会用語」で一致しました。

改めて「親しみやすく、ポイントを絞った、わかりやすい議会だより」にするために努力してまいりますので、本年も市民の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

（緒方 寿光）

広報編集特別委員会

- | | | |
|------|----|-----|
| 委員長 | 菊次 | 太丸 |
| 副委員長 | 橋本 | 憲之 |
| 委員 | 緒方 | 寿光 |
| 〃 | 高田 | 千壽輝 |
| 〃 | 江口 | 義明 |
| 〃 | 新谷 | 信次郎 |